

# 発想法

22j1-104

教科書 P10-P11

# この時間の目標

- 発想法
- S: 発想法についてよく理解し活用しようと思った
- A: 発想法についてよく理解できた
- B: 発想法について理解できた
- C: 発想法について理解できなかった

# 発想法

# 発想法

- 基本的な考え方
  1. 考えを膨らませる
  2. 考えを絵や図で表す
  3. 広げた考えをまとめる

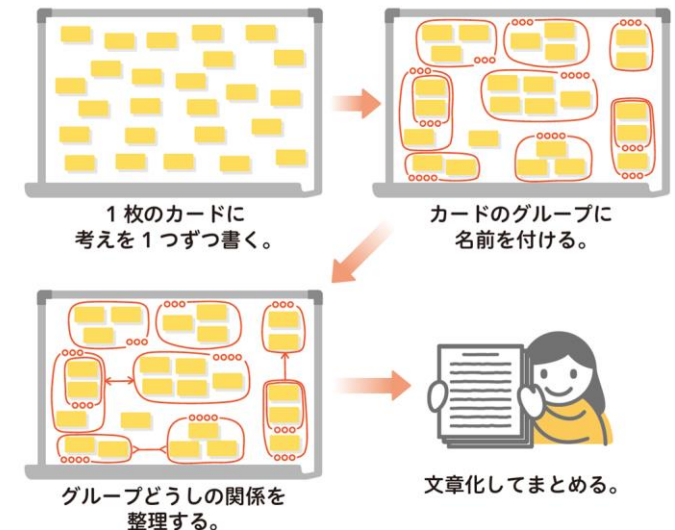
# ブレインストーミング

- グループでアイデアを出す方法
- 話し合いとは大きく違う
  
- ブレインストーミング4つのルール
  - 質より量を重視する
  - 批判をしない
  - 自由に発想し、自由に発言する
  - 他人の意見に便乗し、発展させる

# KJ法

• さまざまな考えを統合し新たな発想を生み出す

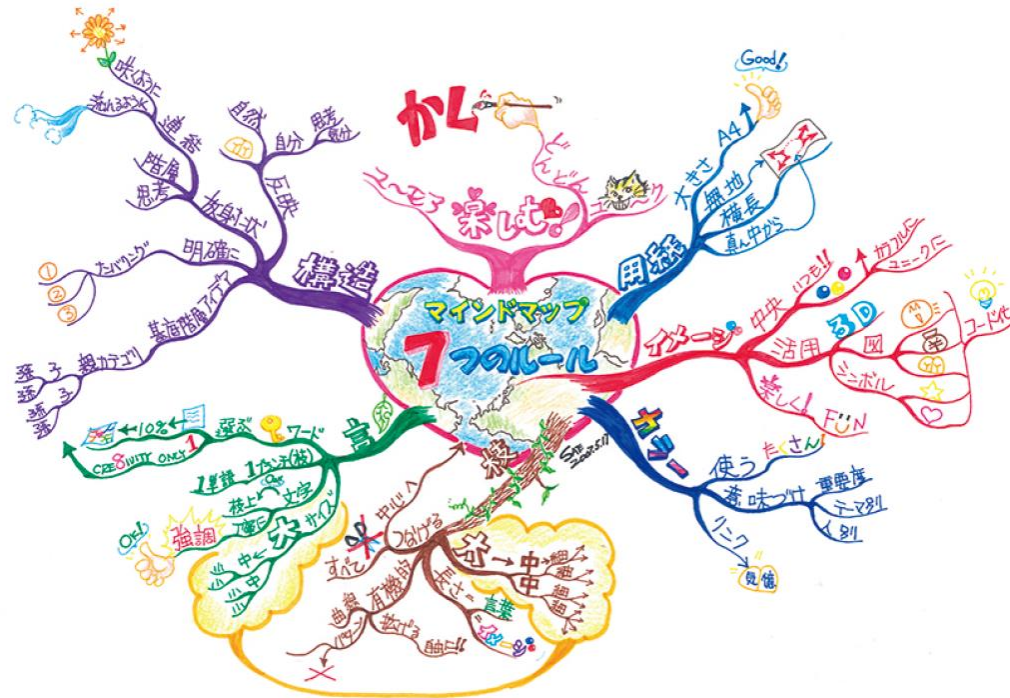
1. 1枚のカードに考えを1ずつ書く
2. 同じような・似たようなカードをグループに
3. カードのグループに名前をつける
4. カード同士の間係を整理する
5. 文章化しまとめる



課題研究メソッドP40 キーワードマッピング

# マインドマップ

- 中心となるテーマを中央に書く
- 枝を伸ばすようにイメージを膨らませる



# 9マスブロック (P156)

- 表の中心にテーマに関するもっとも重要な言葉を書く
- それに関連する言葉を周りに埋めていく

「日本の災害時におけるトイレ問題」について

- テーマに関して何を知っているのか確認できる
- 関連する知識を広げられる

臭気	不衛生	水質汚染	備蓄の不足	自治体の備蓄	必要性の周知	共助・公助	和式トイレ	安全性
土壌汚染	②屋外排泄	清掃	仮設トイレ	③備蓄	携帯トイレ	不慣れ	④避難所	仮設トイレ
性犯罪	感染症	トイレ不足	自助	家庭の備蓄	意識の低さ	管理体制	設備の不足	携帯トイレ
小便器	音を気にする	①経	②屋外排泄	③備蓄	④避難所	自然災害	地震	火災
ニーズの違い	⑤男女の違い	使用時間	⑤男女の違い	①日本の災害時におけるトイレ問題	⑥日本の災害	人為的災害	⑥日本の災害	大雨災害
便器の個数	混雑具合	所作の数	⑦配慮が必要な人	⑧水不足	⑨バイオトイレ	都市での災害	非常事態	津波
身体障害 (視覚・聴覚など)	配慮の必要性に気づきにくい	LGBTQ	調達困難	生活用水の不足	飲料水の不足	普及していない	おがくず	水を使わない
妊産婦	⑦配慮が必要な人	オストメイト	備蓄不足	⑧水不足	断水	高価	⑨バイオトイレ	環境にいい
こども	高齢者	内部障害	上下水道管の損傷	地震	水害	メンテナンスが少し特殊	自己完結型トイレ	山

課題研究メソッドP39 マンダラート

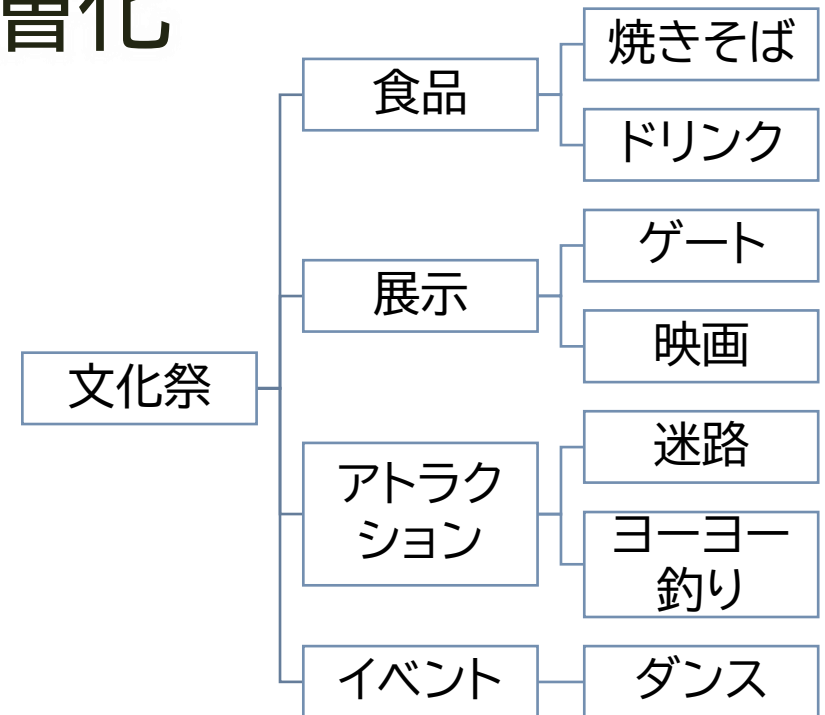


# 特性要因図(フィッシュボーン図 P156)

- 情報を構造化して事象の要因を探る
  1. 特性と背骨を書く
  2. 背骨に対しすぐに思いつく要因を大骨として書き出す
  3. 大骨に対し個々の要因を書き出す

# ロジックツリー (P157)

- 問題を分解、大分類→小分類と階層化
  - 原因や解決策を論理的に探す
  - 本来は漏れなく重複無く書き出す
- Why: 原因追求ツリー
  - 原因を列挙  
→ 根本原因を探る



# ブレインライティング

- 紙を使って黙ってブレインストーミング
  - 制限時間厳守が大切
1. テーマに対してアイデアを3つ書く
  2. 別の人アイデアを3つ書く
  3. 2を繰り返す

# 1. 教科書を読む(3分)

- 教科書12～13ページ「情報モラル」  
16～17ページ「傷つかない傷つけないために」を読む
  - 他の人に意見を書くためにも一通り理解が必要
  - 質問はチャットで
- 教科書を参考に、情報モラルとして最も配慮すべきことを考える
- ワークシートに記載
  - ワークシートは記名しない

22j1-104ws.docx

ブレンライティング  
( 月 日 ) 年 組 席 氏 名

情報モラルとして自分が気を付けていること

①わかりやすく記入

根拠や理由

具体的な対応策

	A	B	C
1			
2			

## 2. 具体的な対応策を考える(8分)

### ① 情報モラルとして最も配慮すべきこと

- 問題点を明示

### ② 根拠や理由

- ①が重要であることの補足

### ③ 具体的な対応策

- 自分はどのように対処しているか
- 他の人にどう納得してもらおうか

### • 時間内に必ず埋める/無理にでも考えて書く

- 時間内でできることをやる

22j1-104ms.docx

ブレンライティング  
( 月 日 ) 年 組 氏名

情報モラルとして自分が気を付けていること

①わかりやすく記入
-----------

根拠や理由

②できるだけ記入
----------

具体的な対応策

	A	B	C
1	③すべて記入		
2			

# 3. ほかの人の意見で発想を広げる

- 他人の意見を膨らます
  - 乗っかって広げる
  - 同意する内容/反対意見でも可
- 3分×4人
- 今回は匿名回答
  - 2から5の空いている欄に回答記載

# ブレインライティング-ワークシート

- 2枠以降
- 1枠を見て自分なりの視点で回答
  - A2にはA1の回答が原則
  - 違う列の回答も可
    - わかるように書いて
  - 必ず3つ回答する
    - いいね！・その通り ではダメです
    - 具体的にどこに同意するのか書く
  - 時間内にできることをやる

22j1-104ws.docx

ブレインライティング  
( 月 日) \_\_\_\_\_年 組 \_\_\_\_\_氏名

情報モラルとして自分が気を付けていること \_\_\_\_\_

根拠や理由 \_\_\_\_\_

具体的な対応策

	A	B	C
1			
2	↓	↓	↓

# 自分に戻ってきたら

- ワークシートに名前を書く
- 参考になりそうな意見を赤で囲む
  - 気づいていなかった視点
  - 新たな解決方法 など

ブレインライティング

( 月 日)

年 組 席 氏名

情報モラルとして自分が気をつけていること

根拠や理由

具体的な対応策

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			



## 4. 自分なりの注意点をまとめる

- 第4回授業の振り返りの入力欄( 設問10 )に記入
- 要領の良い手順
  - 要点を箇条書きにする
  - 順序を整理する
  - 文章でつなぐ
- 感想や3つのキーワードなども入力して送信